

# 山形県初！「学習型」合同防災訓練を開催します！ ～大規模土砂災害に備えて～

近年、全国各地にて地震・豪雨等による大規模な土砂災害が頻発しています。そこで飯豊山系砂防事務所では直轄区間である荒川流域にて大規模な土砂災害が発生することを想定し、**山形県内では初めてとなる「学習型」訓練形式**で、国、県、市町村等の関係機関との合同防災訓練を実施します。

## 「学習型」合同防災訓練概要

**訓練日時**：平成25年2月15日（金）

13:00	会場集合
13:10～13:30	開会式、訓練説明
13:30～15:30	合同防災訓練
15:30～16:00	反省会、閉会式
16:00	解散

### 会場

おぐに開発総合センター 2階 集会室  
山形県西置賜郡小国町大字岩井沢704  
(TEL:0238-62-2141)

### 見学について

訓練は公開し、会場には見学席を用意します。

**訓練参加機関**：北陸地方整備局、飯豊山系砂防事務所  
飯豊山系砂防スペシャルエンジニア  
山形県庁、置賜総合支庁  
小国町

**訓練方式**：学習型防災訓練形式による机上訓練

災害シナリオに沿って質疑応答していくため、各機関の災害対応等の流れがわかりやすいのが特徴です。(学習型訓練方式の詳細については別紙参照)

**訓練の被災想定**：①小国町内で直下型の地震が発生し、震度6弱を記録。  
②地震により横川沿いの斜面で大規模土砂崩壊が発生。  
③崩壊した土砂で天然ダムが形成。  
④上流側では湛水による浸水被害の恐れがある。  
下流側ではダム決壊による氾濫被害の恐れがある。

### 被災想定箇所



【問い合わせ先】 飯豊山系砂防事務所 副所長(技術) 川村修蔵  
調査・品質確保課長 山本敏一  
TEL:0238-62-2566(代表)

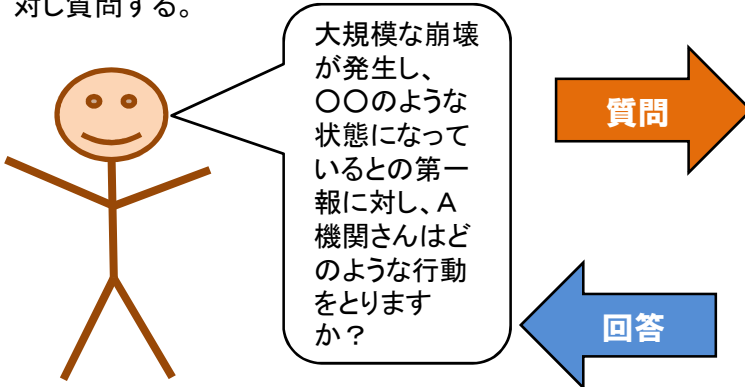
## 基本的な進行

「司会進行者」と「訓練参加者」にわかれる。

「司会進行者」は想定した災害シナリオに則した状況付与を行った上で、対応について質問する。これに「訓練参加者」が回答する形式で進行する。以降シナリオに沿って質問、回答を繰り返す。

### 司会進行者

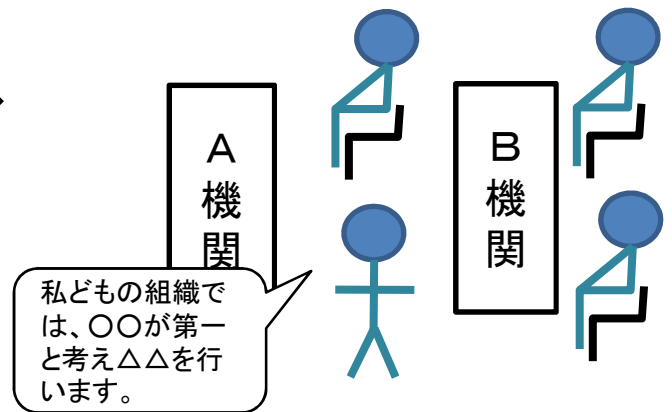
訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに対し質問する。



回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答してもらう。

### 訓練参加者

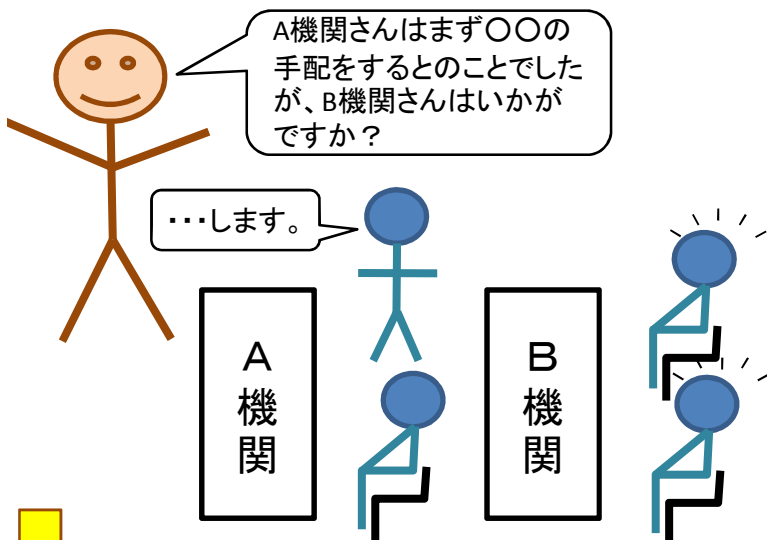
質問内容に応じて訓練参加組織内での回答者を決めて、発表する。



回答者は与えられた設問に対してその場で考え、すぐに回答してもらう(相談してもよいが時間的な余裕は少ない)。

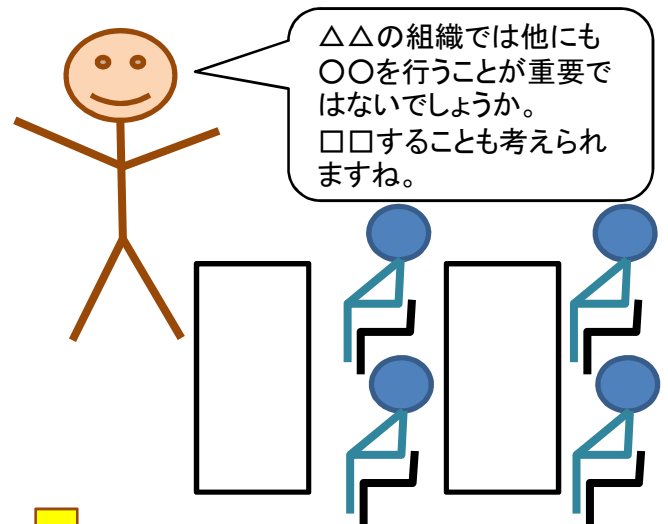
「司会進行者」は、場面に応じて他機関にも質問したり、ステージ毎の内容の総括を行ったりする。

### 他機関への質問



- ・特定の機関に限らず演習が可能となる。
- ・1つの場面において、複数機関の対応を参加者全員が見て考えることができる。

### ステージの総括



- ・すぐに対応を振り返ることができる。
- ・回答のなかった対応方法や内容についても認識することができる。

各機関の回答を参加者全員が同時に聞くことによって、他機関がどのような対応をしているのか理解できる。同様に見学者も質問回答を聞くことができ内容を理解しやすい訓練形式となっている。